令和4年度第2回天童警察署協議会の開催

日	時	令和4年9月8日(木)午後3時から午後5時までの間
場	所	天童警察署会議室
出力	席 者	協議会委員:会長以下5人 警察署員:署長以下11人
議	題	警察業務に関する要望等

【協議内容等】

委員からの意見等	警察署の回答
天童市内で8月に発生した交通死亡事故に関して、新聞で「事故概要をチラシにまとめ全戸配布すべき」との記事を見て、私も賛成である。 また、今後とも交通死亡事故ゼロの更新に向け、具体的な再発防止策等を推進するとともに、令和3年度の交通事故多発地点マップ(天童警察署管内)に、今回の事故を新たに追加したものを作成してはどうか。	交通死亡事故の発生を受け、交通関係機関・団体と共に、現場点検と緊急再発防止対策会議を実施しています。 その席上、出席者から意見をいただき、既にチラシの全戸配布を開始しています。 交通事故多発マップについては、交通関係団体と協力して作成しており、令和4年度版に、今回の事故も追加するように調整します。 悲惨な交通事故の減少に向けた広報啓発活動や、街頭での警戒パトロール、更には交通指導取締りを、より一層強力に推進していきます。
天童市で発生した交通死亡事故の現場付近は繁華街に近く、酒に酔った横断者もいるので、ドライバーに対する注意喚起をしてはどうか。	死亡事故現場は、見通しの良い場所でありますが、緊急再発防止対策会議では、道路にドット表示を設置し、ドライバーへの注意喚起を図ってはどうか、との意見もありました。 今後も道路管理者等と連携して有効な対策を推進していきます。
自宅の駐車場から大通りにバックで出る際に高齢者の家族が車のすぐ後ろに立って誘導し、車と接触してしまう交通事故が多いように感じているがどうか。	他署管内で、今年、高齢女性が運転する普通乗用車が、敷地内で立っていた高齢女性と衝突して、高齢女性が死亡した交通死亡事故が発生しています。 ドライバーの方には、敷地内や自宅周辺であっても油断することなく、歩行者

がいることを前提として安全確認をしっかりとするように、今後も注意喚起をし

ていきます。

自動車を運転中、互いに譲り合っているうちに、脇道から別の車両が入り込んで事故につながったことがあった。

こうした譲り合い時の交通事故があると感じているがどうか。

譲り合いの事故は、ドライバー同士の 思いやりから生じてしまうものと推察し ています。どちらかが不意に動いたり、 別車両が介在することで事故につながっ てしまう場合もあるので、十分に気を付 けていただくとともに、警察としても注 意喚起していきます。

天童警察署ホームページのQRコード を作成し、広報紙等に掲載してはどうか。 市民の方に、天童警察署のホームページの存在を周知したり、ホームページを閲覧していただけるよう、発行するミニ広報紙やチラシ等にQRコードを掲載していきます。

少年に対する継続補導の重要性を感じているが、その体制はどうか。

保護観察処分を受けた者で、その後も 気掛かりな者の対応はどうか。 天童警察署では、少年補導専門官が中心となり生活安全課で継続補導を担当しているほか、警察本部に少年サポートセンターを設置し、県内全体をカバーしています。

保護観察処分を受けた少年等への対応 は、保護観察所が中心となって行ってい ます。

新たに「こども110番連絡所」を登録する場合の方法はどうか。

また、「こども110番連絡所」の表示はあるが、既に住人がいない家もあると聞いており、定期的な見直しも必要と考えるがどうか。

「こども110番連絡所」は、平成9年に神戸市須磨区における連続児童殺傷事件が発生したことを受け、同年から教育委員会、学校及び警察が連携し、通学路近くで日中家人等が在宅している民家や商店・事業所等の協力を得て、子供の緊急避難所として設置されたものです。「こども110番連絡所」の登録を希望する場合は、警察署又はお住まいの学区の小学校に相談してください。また「こども110番連絡所」の定期的な見直しも進めていきます。

保護者のモラル欠如が、世代間の連鎖により子供にも悪影響を及ぼしていると 感じているがどうか。

幼い頃から周囲の大人が手を差しのべ、 教え示すことにより、正しい力、学習能力を付けてあげることが大切であり、引き続き、学校・園と連携を図りながら、 対処していきます。